

1. 会社概要（基本情報）

会社名	GIキャピタル・マネジメント株式会社	
所在地	住所	〒102-0083 東京都千代田区麴町1丁目7番 相互半蔵門ビル3階
	電話	03-6256-9500
	HPアドレス	http://www.gicamltd.com/ja/
代表者	リー・チャン・ホ／指輪 英明	
金融商品取引業登録番号	金融商品取引業 関東財務局長（金商）第27号	
登録年月日	2010/6/1	
協会会員番号	012-02616	
業務開始年月	2022年6月	
資本金	5千万円	
受付窓口	高橋 美穂	
電話	03-6256-9552	
E-mail アドレス	takahashi@gicamltd.com	

2. 運用の特色（投資哲学、運用スタイル等）

長期的に持続可能なリターンをもたらす投資戦略を目標とするプライベート・デット戦略

1. 投資戦略構成：次の3サブ戦略でポートフォリオを構築します。

- ① ダイレクト・レンディング戦略
- ② 資産担保付NPL投資戦略
- ③ スペシャル・シチュエーション戦略

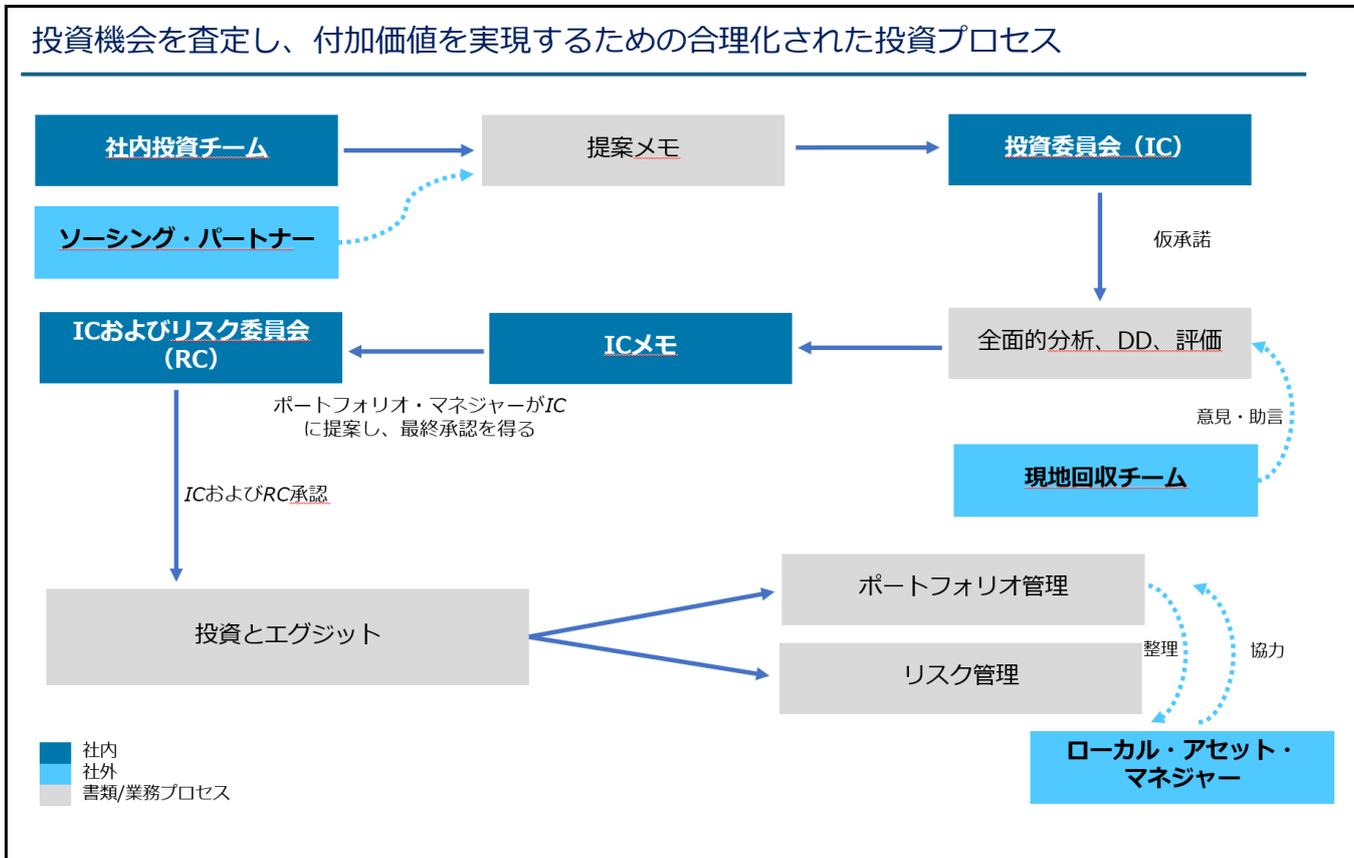
2. 運用体制：アジアを中心に複数のクレジット・サイクルを経験した運用チームとセカンド、サードラインで鉄壁のディフェンスを構えるリスク・バックオペレーションを整えて様々な局面にも対応可能な社内体制を敷いています。また、設立以来、金融商品取引業者として、コンプライアンス体制の構築、オペレーション体制の構築を行ってきています。オペレーション体制については、他の運用資産（実物資産、投資一任など）と一体で体制構築しています。

3. GP出資：運用会社がGPとして設定ファンドAUMの5%の出資をする予定です。投資家様と利害が一致した立場での運用を重視しています。

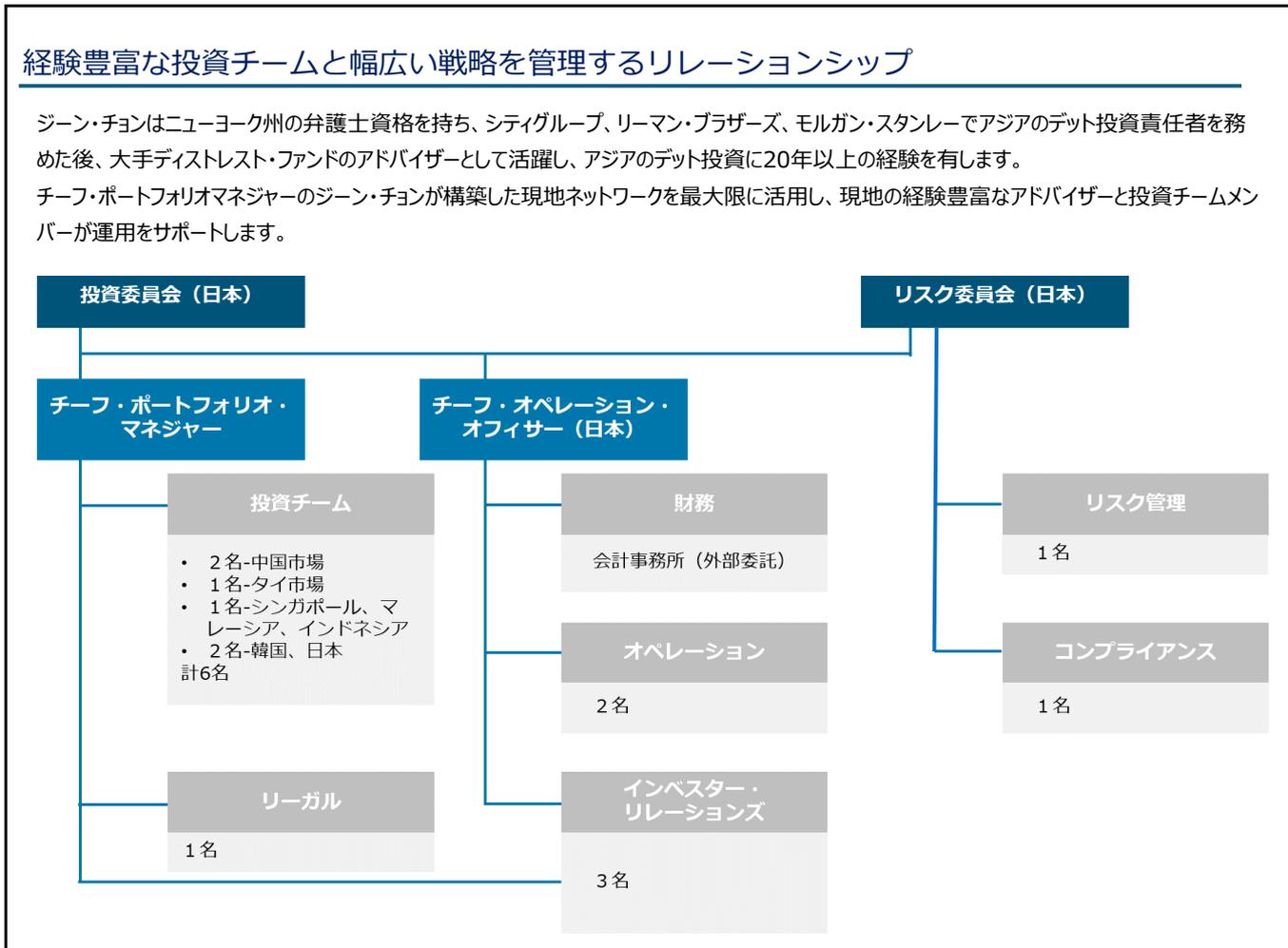
4. 機関投資家出資：1号ファンドは国内大手適格機関投資家からシードマネーを受託しました。そのため機関投資家が要望する水準の管理体制、レポートを提供しています。

5. ターゲット市場の大きな可能性：今後10-20年、アジアのプライベート・クレジット市場は拡大が見込まれています。2007年にプライベートクレジット運用が開始され、現在、1.5兆ドルに成長した米国市場と比べても規模の大きい市場となる可能性があります。

3. 投資に関する意思決定プロセス



4. 運用体制



5. 運用金額

*2024年3月時点でのGIキャピタルマネジメントの運用資産額 (単位: 百万円 為替評価: 1米ドル=151.41円)		
投資顧問	実物資産	57,393
	金融資産	34,048
証券業務		24,802
	合計	116,243
*キャピタルコミットメント価額		
アジア・デット・オポチュニティーズ・ファンド		2,670

6. 運用実績

20年以上にわたるプライベート・クレジットの専門知識、強固なネットワーク、明確な戦略

20年にわたるクレジット経験

- 経験豊富なポートフォリオ・マネジャーは、20年以上にわたる直接的な資金運用の専門知識を誇り、ディストレストやスペシャル・シチュエーションのシナリオでプラスのリターンを実現した一貫した実績を示す
- 頻繁にアジアへの参入退出を繰り返してきたグローバル・ファンドとは対照的に、アジアのスペシャル・シチュエーション投資に専念している

ソーシング・ネットワークと実行能力

- 市場に出て来ないプライベート・クレジット取引へのアクセス (あまり世間には知られていない相対取引または招待制取引を優先)
- チーム・メンバーが20年来の維持している関係を利用することで、機会の発掘が容易になり、一貫したソーシング・プロセスが確保される
- 取引を実行し、エグジット戦略をあらかじめ構築するための信頼できる現地アドバイザーネットワークを事前に確保
- 例えば、現地のアドバイザーは複数のエグジット・チャンネルを用意、実際の銀行口座の現金残高や、対象となる担保に類似した過去の取引のチェックなど、買い手候補のデューデリジェンスを行う投資チームとともに、案件を進捗させる必要がある。もう一つの例は、不良債権の取得に先立ち必要とされる保証金支払い条件を確認・交渉することである

明確な債権回収・資金還流戦略

- 現地のアセット・マネジャーに対する厳格な管理態勢を伴った有効な債権回収プラットフォームの活用
- 最悪の事態においてもエグジットを確保するための、明確かつ高確度戦略の実施と実行
- 法務・税務上の問題に積極的に対処し、資金の迅速な本国還流を実現するための、実績ある法律および財務アドバイザーのネットワーク

7. アピールポイント

なぜアジア・パシフィックにおけるプライベート・デット戦略なのか？

アジア・パシフィックのプライベート・デット市場（以下、PD市場）は、今後顕著な成長が見込まれ投資家や企業間での注目度が高まっています。特に伝統的な銀行融資の規制が続く中、企業は代替的な資金調達手段を求め、益々PD市場が活性化すると見込まれます。主な理由を以下に列挙致します。

1. 銀行融資の制約と代替資金の需要:

アジア各国における銀行の規制強化やリスク管理の厳格化により、従来の銀行融資が難しくなっています。特に銀行がリスク回避のために特定のセクターや企業に融資を制限する中、プライベートデットは柔軟な資金提供手段としての役割を果たしています。

2. プライベート・エクイティと連動する成長:

PD市場は、プライベート・エクイティ市場とも密接に関連しています。アジアではプライベート・エクイティ投資が急速に拡大しており、これに伴ってPD市場も成長しています。特にM&A（合併・買収）案件やレバレッジド・バイアウト（LBO）などで、資金の一部をプライベート・デットで調達するケースが増えています。

3. ESG（環境・社会・ガバナンス）投資への対応:

アジアにおいても、ESG要素を考慮した投資への関心が高まっており、PD市場においてもこの動きが進んでいます。投資家は、ESG基準を満たすプロジェクトや企業への資金提供を増加させる傾向があり、特にグリーンファイナンスや持続可能なインフラへの融資が注目されています。

4. 地域別の展開:

中国：規制強化やシャドーバンキングの抑制政策にもかかわらず、プライベートデット市場は成長しています。特に不動産市場やテクノロジー分野での資金需要が高まっており、これが市場の成長を牽引しています。

インド：中小企業の資金需要が急増しており、銀行融資に代わるプライベートデットが重要な役割を果たしています。特にテクノロジーやフィンテック分野での成長が期待されています。

東南アジア：経済成長が続く東南アジア諸国では、インフラ開発や新興企業への投資がプライベートデット市場を押し上げています。特にベトナムやインドネシアでの市場拡大が顕著です。

なぜGICAM運用チームなのか？

アジアのPD市場は成長が期待される一方で、リスクも伴っています。特に政治的リスクや規制の不確実性が高いため、デフォルト・リスクが上昇する可能性があります。また、経済状況の変動や金利の上昇が市場にどのような影響を与えるかも注視する必要があります。さらに、流動性の低さや情報の透明性が従来の公開市場に比べて劣るため、慎重なリサーチが必要です。

GICAM運用チームは、90年代後半のアジア通貨危機から長きに渡り当該分野で投資経験を持つチームポートフォリオマネージャーと、彼の築き上げてきたロカールネットワークが、アジア市場固有のリスクを含めてリスク・リターンを分析し、投資先選定を行い、投資家のみならず、地域の金融市場の活性化、雇用維持などを通じ、経済と社会へも最良の結果をもたらすことができると考えています。